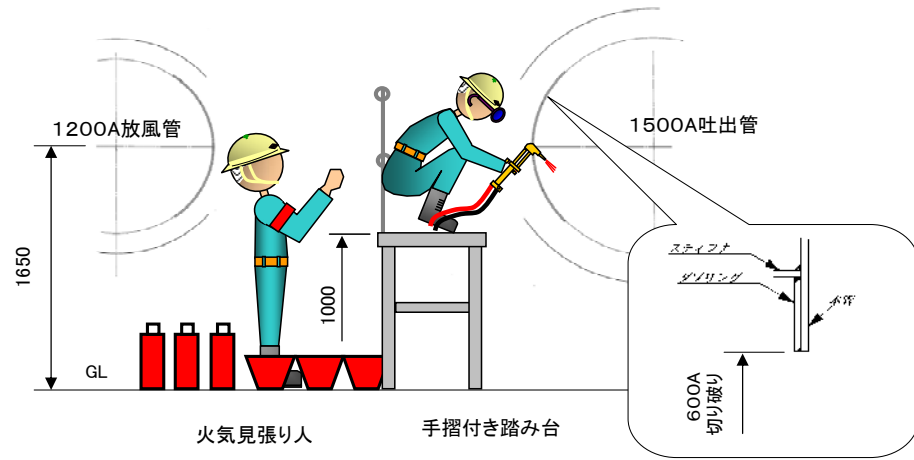


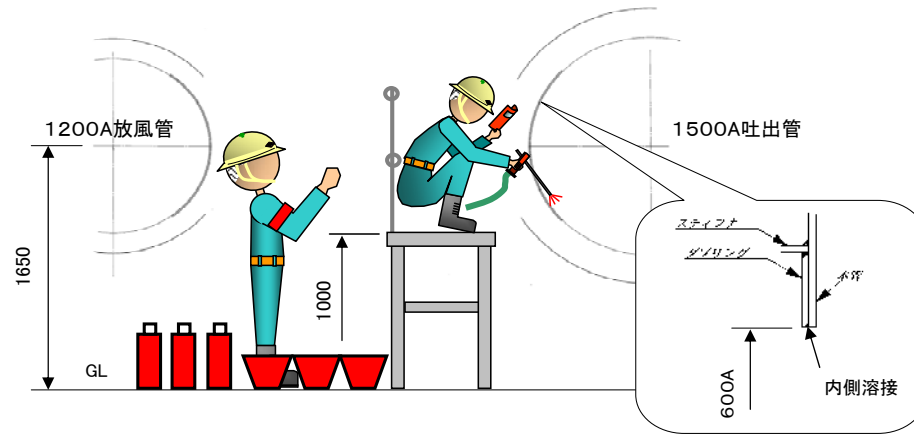
【 施工要領書 】(リスク分析表)

[危険有害要因の特定 及び 除去・低減するために実施すべき事項の、特定表]

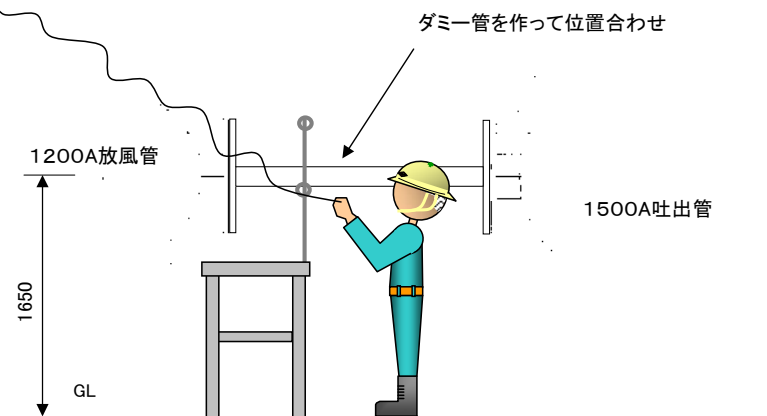
工事名称	6高炉送風機非常減風配管設置工事
件名	フランジ短管取付け



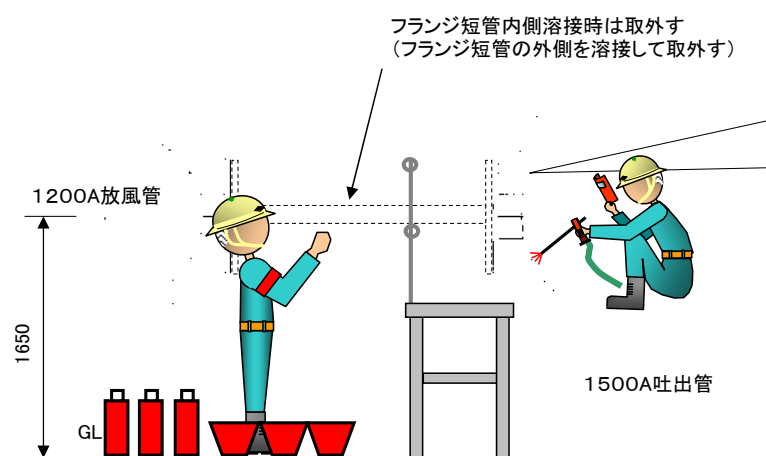
吐出管及び放風管切り破り



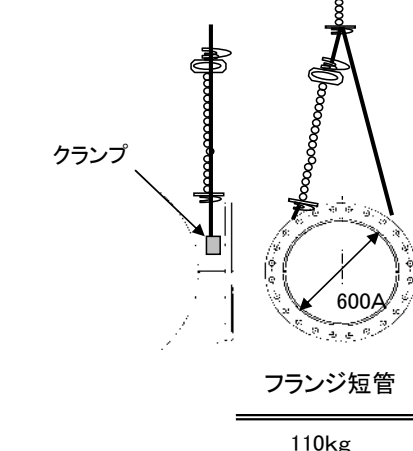
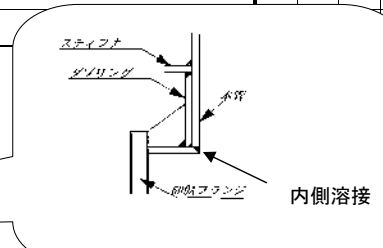
ダブルリング内側溶接



フランジ短管取付け



火気見張り人 本溶接



作業内容 (手順/施工上のポイント)	危険有害要因 (予想される災害)	リスク一次評価				実施事項 (除去・低減対策/法令遵守事項も含む)	リスク二次評価				実施責任者	
		重大	頻度	点	評価		重大	頻度	点	評価		
作業 工程 手 順	1. 吐出管及び放風管切り破り	火の粉の飛散で周りに引火し 火事になる。	5	2	10	C	・消火器、消火バケツを各3個手元に 配置する ・火気見張り人を配置する ・周囲を防災シートで養生する	5	1	5	D	施工者
	2. 切り破り部サンダー手入れ	・サンダー使用時に削り滓が目に入る	3	3	9	C	・サンダー使用時はゴーグルを着装する	3	1	3	D	施工者
		・サンダーで手足を切創する	5	2	10	C	・サンダーは両手で持つ ・不使用時はコンセントを抜く ・コンセントを入れる時はスイッチOFFを確認する	5	1	5	D	施工者
	3. ダブルリング内側溶接	・溶接電流で周辺機器を壊す					・直近でアースを取る					
	4. フランジ短管(吐出管側)取込み、仮付け	・荷が振れて挟まれる	5	2	10	C	・荷の振れる方向に体を入れない	5	1	5	D	施工者
		・吊荷が落ちて人に当たる	10	2	20	B	・吊荷の下に入らない ・見張り人を配置して吊り荷の下に人を入れない	5	1	5	D	施工者
	5. フランジ短管(放風管側)取込み、位置決め	・荷が振れて挟まれる	5	2	10	C	・荷の振れる方向に体を入れない	5	1	5	D	施工者
・手を挟む		3	3	9	C	・フランジとフランジの間に手を入れない	2	1	2	D	施工者	
6. フランジ短管(放風管側)仮付け	・溶接電流で周辺機器を壊す					・直近でアースを取る						
7. 全体本溶接	・溶接火の粉の飛散で周りに 引火し火事になる。	5	2	10	C	・消火器、消火バケツを各3個手元に 配置する ・火気見張り人を配置する ・周囲を防災シートで養生する	5	1	5	D	施工者	

リスク評価	:(重大性×頻度)で算出		[A・重大な問題がある(25点以上) B・問題がある(15点以上) C・多少問題がある(9点以上) D・許容できる(8点以下)]							
一次評価	:評価結果を記入		二次評価 :実施事項を検討後 再評価を行う【一次評価でA～Cの判定となったもの】							
(二次評価でも重大性の予想が10点より下ならず、評価結果が許容範囲とならない場合は、発生頻度が1点の場合に限り許容とみなすことができる。その場合評価Cを○で囲む)										
重大性	死亡災害	10点	休業1ヶ月以上	5点	休業4日以上	3点	休業3日以内	2点	不労	1点
頻度	よく発生する	5点	時々発生する	3点	滅多に発生しない	2点	まず発生しない	1点		